

2003 年度 委員会活動成果報告

(2 0 0 4 年 3 月 3 0 日作成)

委員会名	地域共生小委員会	主 査 名：系長浩司
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：仙田 満
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	都市及び農村を含む地域でのサステナブル地域づくりに関する内外の計画・デザインに関する情報交換を進める。その上で下記の活動目的を持って活動する。 持続可能な都市・農村地域デザインの提言づくり 地域共生デザインに関する公開研究会の連続開催	
委員構成 (委員名(所属))	系長浩司(日本大学) 木下勇(千葉大学) 宮田裕介(地域環境プランニング) 石丸紀興(広島国際大学) 伊藤庸一(日本工業大学) 勝野武彦(日本大学) 加藤仁美(加藤仁美環境デザイン研究室) 小谷部育子(日本女子大学) 齊木崇人(神戸芸術工科大学) 地井昭夫(広島国際大学) 波多野憲男(四日市大学) 村上佳代(早稲田大学) 横張真(筑波大学) 渡和由(筑波大学)	
設置 WG (WG 名:目的)		
2003 年度予算	85,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	<p>第一回公開研究会 2003年6月2日/竹のパピリオンとそのゼロエミッション哲学 講師：グンターパウリ / 来賓者：コロンビア駐日大使夫妻 参加人数：48名</p> <p>第二回公開研究会 2004年3月5日/英国でのシティ・リージョンの再生に関する最新情報 講師：村上佳代(早稲田大) 参加人数：15名</p> <p>関連協力したシンポジウム レスター・ブラウン講演シンポジウム 『地球の未来とサステナブルシティ』(2003年11月13日) シンポ自主実行委員会(仙田満委員長)を支援 参加人数：150名</p>
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>竹をテーマとしたゼロエミッション的な建築の有り様について社会的課題を発信できた。また、コロンビア大使夫婦を交えて、国際的な視点での交流が出来た。</p> <p>都市及び農村の共生関係、シティ・リージョンのプランニングの重要性を指摘できた。</p> <p>世界に影響力のある世界的な環境学者レスター・ブラウン氏を交えて、地球環境的視点での都市のあり方について社会的情報発信に協力できた。</p> <p>委員会 HP アドレス：</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>当初予定したより、公開研究会が少なく、十分に情報発信はできなかった。持続可能な都市・農村環境デザインの提言に向けて、EUにおけるシティリージョン的視点での取組を紹介できた。</p>
その他評価すべき事項	<p>竹のゼロエミッションでのコロンビア大使との交流、EUの視点また、レスター・ブラウンとのシンポジウム等、地球環境建築・都市のあり方について、国際的交流の視点から社会的貢献ができた。</p>